

## 30分 AI活用オンライン相談 | 簡易まとめ

### ご相談内容

AI を社内に導入したいが、自分自身が十分に理解できていない状態で「AI をやろう」とは言い出しにくい。セミナーでは前提知識がある人向けに話が進み、今さら聞けない雰囲気もある。まずは「社長としてどう構えればよいか」を整理したい。

AI は「部下に使わせる道具」ではない。社長自身が使う「思考の壁打ち相手・仮想の右腕」。  
まず変えるべきは、システムでも現場でもなく、社長自身のAIの使い方。

### なぜ「生産から少し離れる」のが正解か

#### いきなり生産・品質・計画に使うと…

AI は万能ではなく専門分野では専門家に及ばない。精度不足が露呈し「やっぱり使えない」で終わるリスクが高い。

#### 最初に使うべき領域（＝社長が一人で抱えがちなテーマ）

- ・ 従業員同士のいざこざ・人間関係の整理
  - ・ 労務・人事判断のモヤモヤ
  - ・ 決算書の「違和感はあるが言語化できない点」
  - ・ 誰にも相談しづらい社長自身の迷い・感情
- 正解がなく、判断と感情が絡む領域で最も早く「使えた実感」が得られる。

### 絶対に避けるべき罠 — 「社長がAIに丸投げ」

#### NGな使い方

- ・ 一問一答で答えを出させる
- ・ AI の回答をそのまま採用する
- ・ 判断をAIに委ねる

#### 正しい使い方

- ・ プレスト前提で使う
- ・ 情報を少しずつ足しながら会話する
- ・ 新しい視点・論点を引き出す
- ・ **最低5回以上**キャッチボールする
- ・ 最終判断は必ず社長が行う

### 今日からできる「最初の一步」

1

#### テーマを選ぶ

人の悩み／数字の違和感／判断の迷い、から1つ

2

#### そのまま相談

ChatGPTにきれいにまとめず文章で投げる

3

#### 5回以上対話

「別の見方は？」「リスクは？」「他の視点では？」

4

#### 視点で評価

結論ではなく「視点が増えたか」で成果を測る

AI は、社長の代わりに考える存在ではない。  
社長が、より深く・冷静に考えるための部下である。

※ 本まとめは特定ツールやシステム導入を目的とせず、社長自身の思考整理・判断力向上を目的とした内容です。